

都會病患者

一六
卷之三

原作者
脚色監督者
撮影者
主演者

卷之二

終
第一貫、水力發電所を山第三百九十五號に建設する。そして山の生活に倦怠してゐる都病患の職員達は都會のモダン・ガーデンな取組をもつてお粗末ながら、愛憐をしながらさせ、小さな波練を描いてゐる。いさも單純な物語ではあるが、この監督は美しい山の單純な諱にしなかつた。カメラにガチリと收めるこゝを忘なかつた。故につまらない場面でもそゝの背景がよくなづかされてゐる。事件の進行が非常になめらかに進んでゐる。

兎に角内容の薄っぺらな物語を小さなながら、見られる程度に繋いで見せた所は全く木村莊十二君の御手柄である。前作「百姓萬歳」三云ひ、焼失し公開されなかつたが「屋上姫嫁」と紳士「」と云ひ、「新進木村君尙々侮り難い構成を窺はせる。」水原玲子の都會の女はさうも一九三一年型と云つた新鮮な感じに乏しく、絶へす。鼻先きで冷笑してゐるやうな素人臭さが目障りである。徳川良子は無難、潮見草太郎が一語がツリとしてゐて、その前途を期待されるが、伊達龍治と云ふ新人の前途を期待されるが、三枚目としての達者な人間を一枚加へたかつた。伊達龍治と云ふ新人の前途を期待されるが、三枚目としての達者な人間を一枚加へたかつた。 池田 重近 興行價値——添物として絶好なもの。

(六月三日 紅娘子) 常盤座

常盤座

興行會會
活動

常盤座